



- ★ 独立を志す方
- ★ リピート率を高めたい方
- ★ 企業内診断士とプロコンの二足のわらじを履きたい方

稼げる! プロコン育成塾

16期 第9回講義レポート

稼げる! プロコン育成塾 16期 第9回講義を、下記の通り行いましたので、ご報告いたします。

■ 実施要領

| | | |
|------|--|------------------------------|
| 開催日時 | 2017年4月22日(土) 9:00~17:00 | |
| 開催場所 | 佃区民館(東京都中央区佃) | |
| 開催内容 | ビデオ録画で振り返る 模擬プレゼンテーション (プレゼンター:16期生) | 講師: 塾長 鴨志田 栄子 講師 清瀬 和彦 |
| | 独立へのロールモデル 「稼げる! プロコンを目指して」 | 講師: 初鹿野 浩明 氏(当塾7期生) |

■ 第9回講義レポート

(1)ビデオ録画で振り返る模擬プレゼンテーション

講師:塾長 鴨志田 栄子(9:00~15:00)

1年を通して実施した「話す」スキル習得の最終回として、塾生各自が10分のプレゼンテーションを実施いたしました。今回は、話し方・伝え方の他に、事前課題のレジメも評価の対象となりました。講義では、全員に「プレゼンテーション評価表」が配られ、相互評価を行います。同時に、塾長はじめ、講師陣や同期の仲間からのフィードバックを受けます。プレゼンテーションの講義は、途中休憩を挟みながらも正味5時間という長丁場の講義時間ですが、スピーチを行った全員が、それぞれ嗜好をこらしたプレゼンテーションを行い、また聞き手も評点をつけるために常にプレゼンテーションに集中して耳を傾けていたため、あっという間に時間が過ぎてい



きました。本講義では、受講生のプレゼンテーションを動画で撮影しており、各自、それを見ながら振り返り、講師や仲間からのアドバイスを再確認することができます。

「稼プロ!」16期生は、初回より毎回交代でショートスピーチの練習を実施してきました。塾生の皆様の成長は目を見張るものがあります。プレゼンテーションの講義終了後の塾生の感想でも、「長く話すことが、苦にならなくなった」、「練習すればできる、という自信がついた」、「話すことの、苦手意識が消えた」、「他人のフィードバックが、客観的でありがたかった」、「他の方のスピーチを聞くことで、勉強になった(プレゼンのアイデアや、真似たい話し方など)」等の声が聞かれました。



(2) 独立へのロールモデル「稼げる！プロコンを目指して」

講師：初鹿野 浩明 氏（当塾7期生）（15:00～17:00）

今回は、当塾7期生であり、茨城県の「よろず支援拠点」のコーディネーター等、地域資源を活かした商品開発や販路開拓支援、事業再生支援等でご活躍中の、(株)経営科学研究所の初鹿野浩明氏にご登壇頂き、独立診断士として大切にしている事、コンサルの現場での仕事の仕方等、示唆に富んだお話を、独特のユーモアを交え、お話を頂きました。

初鹿野氏という、その著書「焼き鳥はなぜ串に刺さっているのか？」を、ご存知の方も多いと思います。講義の中でも、(著書等で)自分を印象付ける事の重要性や、中小企業への指導の現場においては、経営者にわかり易い言葉や表現で指導することの重要性についての話がありました。また同氏は、経営コンサルタントとなるまでに多くの職業を経験され、たくさんのご苦勞をされた経験があるそうです。そんな初鹿野氏が診断士になってから一貫して行っていることは、「傾いている企業を立て直すこと」だそうです。その現場で大切にされていることは、まずは苦境にある中小企業経営者が顔を上げてやる気を取り戻すことだそうです。そのうえで、中小企業者が自身でできることを見出すこと、経営者自身が語る断片的ではあるが役立ちそうな話を体系化し事業の方向性を見出し「見える化」することを行い活路を開いてゆく、そんな指導をされているとのことでした。



初鹿野氏のユーモアと具体的なコンサルティング現場でのお話の裏で、中小企業経営者に寄り添う姿勢や信念といった同氏が大切にしているお考えやそれらの本質を学ぶことができる、奥深い講義をしてくださいました。

(3) 講義の見学を頂きました

第9回講義では、17期の入塾をご検討頂いている皆様をお招きして、講義の見学をご覧頂きました。今回は、11名の皆様にご参加頂きました。

ご参加の皆様からは、「診断士の仕事がイメージできた」、「実務の話、先輩の話が聞けるのは、とてもよい」、「仕事の姿勢について聞けたことがよかった」、「1年通して塾に参加することで、成長が実感できるということがわかった」、「仲間同士の絆を感じた」、「小さな一歩を、(この塾で)踏み出してみたい」等のご意見を頂戴いたしました。

(事務局：小林 隆)